

第1回 臨床研究セミナー『臨床研究を始めよう』

2020年度から活動を開始した研究推進委員会では、臨床研究活動を実践するためのノウハウを向上させ、医療薬学の進歩発展を図ることを目的に、これまでの医療薬学教育セミナーを継承して、臨床研究セミナーを企画しました。

第1回は、学生やこれから臨床研究を始めたいと考えている初学者等を対象に、なぜ薬剤師に研究が必要か、臨床での題材を研究として実践するためにクリアしなければいけない課題と克服するための実践例について紹介します。

各種専門薬剤師を取得するためにも学術要件が必要となります。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

開催日	2021年4月18日(日)
開催方法	WEB開催(ライブ配信)(事前参加登録必要)
主催	一般社団法人日本医療薬学会 研究推進委員会
対象	薬剤師、大学教員、薬学生、その他
参加費	本学会会員 正会員 4,000円 学生会員 無料 一般 社会人 6,000円 学生 2,000円

〈プログラム〉

開会挨拶(10:00~) 日本医療薬学会副会頭 武田泰生(鹿児島大学病院薬剤部)

基調講演1(10:05~11:05) 座長 菅原 満(北海道大学大学院薬学研究院)
寺田智祐(京都大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)
「日常業務の疑問から行う臨床研究~未来の患者さんのために~」

基調講演2(11:05~12:05) 座長 石崎純子(金沢大学医薬保健研究域薬学系)
田崎嘉一(旭川医科大学病院 教授・薬剤部長)
「論文をまとめるために押さえておきたいこと」

昼休憩(45分)

教育講演1(12:50~13:30) 座長 鈴木小夜(慶應大学薬学部)
五百蔵武士(神戸大学医学部附属病院薬剤部・臨床研究推進センター)
「研究計画書の作成時に意識したいポイントのいろは」

シンポジウム「研究を進める際に苦労したことと、克服するためのTips」
(13:30~15:30) 座長 鈴木貴明(千葉大学医学部附属病院薬剤部)、
矢野貴久(島根大学医学部附属病院薬剤部)

1. 宇野貴哉(国立研究開発法人国立循環器病研究センター薬剤部)
「心臓移植後免疫抑制療法の最適化を目指した臨床薬学研究の実践」
2. 白髪恵美(HITO病院薬剤部)
「はじめての臨床研究 ~論文を投稿するまでの道のり~」
3. 宇野裕基(金沢市立病院薬剤室)
「中小病院の薬剤師でも出来る大学病院薬剤部や大学薬学部との連携研究」
4. 今井俊吾(北海道大学大学院 薬学研究院)
「データマイニング手法を用いた医薬品副作用発現リスクの定量的評価モデルの開発~
社会人博士課程5年間を振り返って、苦難の3年間と逆襲の2年間~」
5. 総合討論(15:30~15:50)

閉会挨拶(15:50~) 研究推進委員会委員長 矢野育子(神戸大学医学部附属病院薬剤部)

認定単位: 日本医療薬学会各専門薬剤師制度クレジット(5単位) 予定

日本医療薬学会 第1回臨床研究セミナー 開催報告書

臨床研究推進委員会 委員長 矢野育子

第1回臨床研究セミナー『臨床研究を始めよう』を2021年4月18日(日)にWEB開催(ライブ配信会場:日本医療薬学会会議室)しました。2019年度まで医療薬学教育委員会が担当していた医療薬学教育セミナーを、2020年度から新委員会である研究推進委員会が臨床研究セミナーとして継承しています。

第1回は、学生やこれから臨床研究を始めたいと考えている初学者等を対象に、なぜ薬剤師に研究が必要か、臨床での題材を研究として実践するためにクリアしなければいけない課題と克服するための実践例について紹介して頂きました。

基調講演1:寺田智祐先生(京都大学医学部附属病院)「日常業務の疑問から行う臨床研究～未来の患者さんのために～」、基調講演2:田崎嘉一先生(旭川医大薬剤部)「論文をまとめるために押さえておきたいこと」、教育講演:五百蔵武士先生(神戸大学医学部附属病院薬剤部・臨床研究推進センター)「研究計画書の作成時に意識したいポイントのいろは」と、シンポジウム「研究を進める際に苦労したことと、克服するためのTips」として、宇野貴哉先生、白髪恵美先生、宇野裕基先生、今井俊吾先生にご講演頂きました。この4名の先生方は2020年度あるいは2019年度のPostdoctoral Awardや論文賞受賞者で、研究を遂行する中で苦労したことについても赤裸々に紹介して頂きましたので、参加者からチャットのコメントも多く頂き、総合討論が非常に盛り上がりました。

セミナー終了後には391名の方から出席確認フォームの提出がありました。北海道から沖縄まで広く参加頂き、今後もハイブリッドやWEBでの開催を希望されていました。病院薬剤師244名や薬局薬剤師106名が多かったですが、大学関係16名、学生20名の参加もありました。約半数の参加者からアンケートに自由記載して頂くなど、反響が多いことも有り難かったです。

反省点としては、薬局薬剤師のシンポジストがなかったことですが、アンケートで頂いた意見を参考に、次回企画に活かして頂きたいと思います。座長や司会で盛り上げてくださった武田副会頭及び研究推進委員会委員の皆様、細やかに運営のサポートをして頂きました医療薬学会事務局の針生様、協和企画の皆様にご心より感謝申し上げます。